

## 野球部



コロナ禍で思うように練習や対外試合ができなくなり、限られた制約の中での活動になってしまった1年半。怪我や病気にまでも悩まされ、いろいろな思いを抱えながら頑張れたのは、出会えた仲間と過ごした日々がとても楽しく充実していたからでしょう。この仲間との出会いをずっと大切に、次の目標に向かって頑張ってください。いつまでも応援しています。(保護者)

## 執行部



コロナ禍で、行事が今まで通りにはできなくなりました。そんな中で「活動には制限はありますが、みんなの記憶に残るよう東高を盛り上げていきたい。」と思いながら、真摯に執行部の活動に取り組んできたようです。一緒にがんばってきた皆さんや支えてくださった先生方のおかげで、自分たちなりの学校生活を創ることができたように思います。執行部の皆さん、これからも東高を盛り上げてくださいね。ありがとうございました。(保護者 山根満寿美)

## 書道部

高校生活、部活と共に歩んだ3年間で、コロナ禍で思うように部活が出来ず、大会やイベントも中止になり、生でパフォーマンスを披露する機会も減ってしまいました。悔しい思いを力に変え、みんなで作り上げた作品が憧れの書道パフォーマンス甲子園への出場を決め、本当に嬉しかったです。大舞台上で堂々と演技をしている姿を見て、とても感動しました。辛い時も仲間と共に過ごした日々はきっと一生の宝物になると思います。出会いに感謝です。ありがとうございました。(保護者)



## 将棋同好会

コロナの影響で試合が減り、少し寂しい気持ちがありますが、将棋を通して思考力・応用力・創意工夫・忍耐力も育ち、また、多くの情報がある中で客観的にどう判断をして指すか身につければ、きっとこれからの人生に役立つと思います。少ない人数での活動ですが、仲間を大事にしてこれからも将棋を楽しんでほしいと思います。(保護者 伊藤千春)



## 美術部

只々絵を描くのが好き、絵を描いていると心が和むそうです。そんな我が子が3年間過ごした美術部。本格的に作品を、コンクールに応募するのもよし、日々のストレス発散に自由にお絵描きするのもよし。鳥取東高校美術部という居心地の良い空間を、後輩の皆さんにこれからももっと盛り上げていただけたら嬉しいです。3年間ありがとうございました。(西浦帆乃佳の母)



## 吹奏楽部

演奏を聴かせてもらうたび、客席からステージの皆さんの本番までのドラマに思いを巡らせていました。互いに支え合い、共に悩み、時にぶつかりながら一つのことを創り上げていった道程は、きっと未来の糧となると思います。演奏を聴いて、どこからか力が湧いてきたことを思い出します。皆さんのパワーは素晴らしい!ありがとうございました!(保護者)



## 部落解放研究部

## 部落解放研究部

解放研での3年間は有意義だったでしょうか。活動としてはいろんな制限があり、交流も例年より少なくなったと思います。しかし解放研に属していたことは、在学中よりも卒業後において、「考え方」「生き方」に大きな糧となっていくと信じています。解放研部員だったことに誇りを持ち続けてください。3年間、御苦労様でした。

(保護者 福田和博)

## 華道部



## 茶道部



## 科学部



## 文芸部



3年生のみなさん、お疲れさまでした!

## 健康・生活部 Column

## 「楽しく歩いて心と身体を健康に!&地元の魅力再発見!」のイベントに参加して来ました。

今年度は、「心と身体の健康」をテーマに、みんなが楽しんで活動できることが大事だと考え、保護者宛に、既存のイベントを3回案内しました。このコラムが皆様のお手元に届く頃には3回目のイベントも終了していることと思います。実際に第1回目の9月25日(土)と第2回目の10月17日(日)のイベントに参加して来ました。1回目は、「城下町鳥取小径歩き」として、久松公園から池田家墓所まで、観光ガイドの説明を聞きながらゆっくりと8kmコースを歩きました。普段何気なく通り過ぎている地域のことを詳しく聞きながら、楽しく歩き、新しい発見もあり、リフレッシュできました。ゴール後には美味しい「城下町弁当」をいただき、心も身体も少し元気になった気がしました。2回目は、「大人の遠足(セルフオリエンテーリング方式)」で、鳥取砂丘4kmコースを久々に歩きました。あいにくの雨と強風の中でのウォーキングは大変でしたが、ゴール後には美味しい「いかとろろ飯定食」をいただき、心身ともに満たされました。今後もこのようなイベントがあれば、積極的に参加することもよいことだと実感しました。皆さんも機会があれば是非参加してみたいです。子どもたちのためにもまずは保護者が健康でいることが大切だと感じる今日この頃でした。

(健康・生活部 副部長 森本 敦子)





今から20年前、オリンピックに選手として出場することを目標に、陸上競技に打ち込んでいました。大学3年生だった2000年には、シドニーオリンピック代表最終選考会まで行きましたが出場は叶いませんでした。競技引退後は、目標がなくなり、情熱を失いかけていましたが、高校現場で部活動に打ち込む生徒たちに励まされ、指導者という立場で競技者や大会運営を支える事に生きがいを感じるようになっていきました。東京オリンピックの開催が決まってからは、スターターとして大会の運営に関わりたくと目標を持つようになり、NTO資格試験に挑戦、各種全国大会に足を運び現場経験を積んだ結果、2018年にオリンピックスターターとして認定を受ける事が出来ました。

せっかくいただいたチャンスなので、何か目標を持って本番に挑もうと、英語の学習を始めました。20年ぶりとなる英語、力を知ろうと受験したTOEICの点数が267/900と中学生レベルからのスタートでした。早い日には朝4時に起きて、学習に取り組み、3級からスタートした英語検定も、本番までに準2級、2級と合格をする事が出来ました。準1級には届かずコミュニケーションを取るには十分な力はありませんが、本番までの3年間に英語学習を継続したことは自信になりました。

オリンピック出場は陸上競技を始めた小学生の頃からのあこがれでしたので、選手として出られなかった舞台に、競技役員として参加している事が夢のように不思議な感覚でした。スターターとしての心得に、「合図をする事だけが役割ではない。競技者がベストコンディションでスタートが出来る環境づくりをする。」とありました。「スターターの心持ちは、選手に影響する」と、ウサインボルト選手が100m世界記録樹立時にスターターをされたアランベル氏が教えてくれました。(2019年横浜世界リレーにおいて、一緒にチームを組みました。)[On your marks]は優しく丁寧に、「Set」は背中を押すように力強く。オリンピック本番は、キープスマイルで、笑顔心を心がけましたが、実際は、足が震える程に緊張しました。選手を打ち戻した後(リコールがあった際)、状況を国際審判に説明して判定を決める。その内容を英語で選手たちに説明する。瞬時の判断に思考が追いつくのか、自分の頼りない英語力で説明できるのか。ミスジャッジをしたらどうしようなど、考えれば考えるほど不安になり、メインスターターの前には恐怖さえ感じました。そんな時に、仲間の存在が心の支えとなりました。今回は日本人6名とスペイン人の国際スターター、ジョルディー氏の計7名でスターターチームを組みました。国境を越えてワンチームになれるよう、何度もミーティングを繰り返してつながりを深めました。メインスターターとしては男子400mハードルを予選から決勝まで担当しました。ラウンドが進むごとに高まる緊張感など、選手時代を思い出すような感覚がありました。決勝になると、張り詰めた空気感がありましたが、雰囲気を楽しみながらピストルを鳴らすことが出来ました。レースは、0.145秒のリアクションタイムで飛び出したノルウェーのワーホルム選手が一度も先頭を譲らず、45秒94という世界記録で優勝をしました。レースの後、リコーダー担当だったジョルディー氏が「この種目では29年ぶりに世界記録が更新された。前世界記録はバルセロナオリンピックで樹立されたが、その時のメインスターターは自分が担当していた。2回の世界記録に自分が関わるなんて運命を感じる。心に残る一日になった。」と言葉をかけてくれました。歴史的な瞬間にスターターとして立ち会えたことは、私にとってもかけがえのない経験になりました。

オリンピック競技役員を通して経験したことは大きな財産となりました。本番までに英語学習などに打ち込んだ日々が自分の成長につながりました。目標を立てて生活することや、人とのつながりの大切さなど、学んだ事をこれからの人生に活かしていきます。また、今後は生徒の皆さんの夢実現へのサポートなど、自分が出来る役割で社会のために力を発揮していきたいと思っています。



## 人権コラム 虹のしっぽ

本年度人権教育部副部長をさせていただきます曲です。さて、昨今のコロナ感染の中で最も重大だと認識しているのは感染者やその家族、周辺の現場で働く人々、さらには特定の国や地域の人々への偏見や差別です。こうした背景には人々がこの未知の感染症に対して抱く、言いようのない不安や恐れがあります。感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が偏見や差別を生み、その偏見や差別が感染の事実を隠すことに繋がりさらなる感染の広がりを招きます。未知のウイルスに対する不安や恐れが生み出した偏見や差別がインターネットなどを通じて他の人達にも広がっています。コロナによる人権問題は社会の分断と格差の拡大で子どもたちの現在や未来にも暗い影を落とします。危機や不安が煽られる中で、人権侵害や差別行為が正当化されることは絶対にあってはなりません。差別のない社会と誰もが人権を保障されるインクルーシブな学校づくりを目指す活動に人権教育部は取り組みます。ご協力よろしくお願い致します。

(人権教育部 副部長 曲 卓也)

### \* 人権コラム「虹のしっぽ」について

虹にしっぽなんてあるわけないと決めつけないで…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりませんか？

## 卒業生からのメッセージ



北海道大学 総合理系 1年

小林 晴さん

自分は現在、総合理系という少し変わった環境で勉強をしているので、今回はその観点から自分の大学生活や勉強について書きたいと思います。少しでも皆さんの進路決定や受験勉強の糧になると幸いです。

自分は高校の時は生物選択でしたが、現在は理系教科では数学に加え、物理、化学、生物、地学を履修しています。これから色々な学部を選択することができるのでその分勉強も大変ですが、幅広い知識を得られます。講義の中で何人かの教授が幅広い知識を持つことは大切なことだとおっしゃっていました。また、1つの研究にはいくつかの学問分野が関わることもあり、学問分野の統合を重視しているという教授もおられました。皆さんには得意不得意で決めつけないでなるべく色々な教科の勉強をしてほしいと思います。

次に大学の勉強についてですが、大学の講義は実際に研究している教授が講義をしてくれるのでとても面白いです。教科書の内容に沿った講義もありますが、実際の研究内容に触れることができる講義もあります。世界や日本で活躍されている方々から、その研究チームが初めて発表したことなどを学ぶことができとても面白いです。

最後に、大学でしか学べないことは少なからずありますし、それには十分価値があると思います。コロナ禍などで大学進学を迷っている人はぜひ大学進学を考えてみてほしいです。また、大学進学を目指して勉強中の人はこのまま必死に勉強を続けてもらいたいです。頑張ってください。



## 全国高校生短歌大会

11.7

1年5組のチーム

「FIVE」

優勝!!

※全国で170チーム参加

「第3回万葉の郷ととりけん全国高校生短歌大会」の準決勝と決勝が県民ふれあい会館で開かれました。優勝した「FIVE」の3人は歌人の審査員に「大胆で力強い」とても印象的「などと表現力を評価されました。

## 先鋒

お題「大」

神崎 萌衣さん  
「風がもう冷たくなった大げさに  
気づいてほしい赤いわたしに」

## 中堅

お題「布」

佐藤 美桜希さん  
「布一枚空に向かって広げると  
オレンジ色の世界にかわる」

## 大将

お題「会」

影井 仁さん  
「桜色のあたたかな風が吹く道で  
ぼくは出会ったきみと出会った」

## 審査員特別賞

穂村 弘賞 寺谷 陽菜さん(1-16)

「トンネルを抜けたら海と空の青

列車が揺れて肩がぶつかる」

江戸 雪賞 影井 仁さん(1-15)

「バイバイと別れた君の横顔は

まだまだ遠いまだまだ歩く」

## □サッカー

- 第100回全国高校サッカー選手権鳥取県大会(10/16~17)  
・男子 2回戦 境 0:0 延長 0:0 PK5:6  
第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会(10/16~17)  
・女子 2回戦 鳥取敬愛 0:17  
第56回鳥取県高校サッカー新人大会(11/12~21)  
・男子 準々決勝 鳥取城北 1:7 ベスト8  
第56回鳥取県高校サッカー新人大会(11/14)  
・女子 1回戦 鳥取西 0:0 PK2:3

## □柔道

- 鳥取県高等学校柔道新人戦(10/16~17)  
・男子団体 準優勝 中国大会出場  
西原 旺祐(2-2)・児玉 颯来(2-1)・三好 優智(1-7)・上田 晃生(1-5)  
・男子73kg級 上田 晃生(1-5) 3位  
・男子81kg級 西原 旺祐(2-2) 準優勝  
・男子90kg級 児玉 颯来(2-1) 3位  
・女子52kg級 山田 怜果(1-2) 3位  
・女子70kg級 中川 香乃(1-4) 準優勝  
第22回中国高等学校柔道新人大会(11/20~21)  
・男子団体 予選リーグ1勝2敗  
西原 旺祐(2-2)・児玉 颯来(2-1)・澤田 睦月(1-1)・松岡 大智(1-4)・上田 晃生(1-5)・三好 優智(1-7)

## □ビームライフル

- 第5回鳥取県高校ライフル射撃競技新人大会(10/17)  
・男子エアライフル60発 中原 聡(2-2) 優勝 中国大会出場  
・男子ビームライフル60発 山下 洸貴(2-1) 3位 中国大会出場  
山本 凌大(1-3) 4位 中国大会出場  
中原 聡(2-2) 5位 中国大会出場  
・男子ビームピストル60発 山口 慧(1-3) 優勝 中国大会出場  
・女子ビームライフル60発 前田 清花(1-6) 5位 中国大会出場  
霜里 風花(1-6) 6位 中国大会出場  
・女子ビームピストル60発 瀬戸 美有(2-4) 優勝 中国大会出場  
川戸 美岬(1-6) 準優勝 中国大会出場  
岡村 梨央(1-7) 3位 中国大会出場  
第6回中国高等学校ライフル射撃競技新人大会(11/7)  
・男子エアライフル60発 中原 聡(2-2) 6位  
・男子ビームピストル60発 山口 慧(1-3) 6位

## □ボート

- 鳥取県高校ボート新人戦兼全国高校選抜ボート大会鳥取県予選会(10/23~24)  
・男子舵手付きクオドルブル 準優勝  
森本 純平(2-6)・但井 柊斗(2-7)・山下 幹太(2-1)・荒井 康佑(2-6)・國本 知輝(2-7)  
・男子ダブルスカル 玉井 連(2-5)・杉山 泰知(2-6) 準優勝  
・男子シングルスカル 森尾 翼(1-7) 4位  
・男子シングルスカル 榎村 元喜(2-5) 5位  
・女子舵手付きクオドルブル 優勝 中国大会出場  
中村 菜優(2-1)・細谷 和夏(1-7)・平木 安寧(2-3)・原田 優(1-3)・渡邊 実羽(2-7)  
・女子ダブルスカル 前田 明星(1-6)・毛利 芭奈(1-6) 4位  
・女子シングルスカル 大林 泰菜(2-2) 準優勝 中国大会出場  
第33回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選(10/30~31)  
・女子舵手付きクオドルブル 3位 中国大会出場  
中村 菜優(2-1)・細谷 和夏(1-7)・平木 安寧(2-3)・原田 優(1-3)・渡邊 実羽(2-7)  
・女子シングルスカル 大林 泰菜(2-2) 5位

## □バレーボール

- 第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会鳥取県大会(11/13~14)  
・男子 ベスト8  
・女子 2回戦進出

## □バスケットボール

- 第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会鳥取県予選会(10/30)  
・男子 ベスト8 準々決勝進出  
・女子 3位 ※優秀選手 満内 心菜(2-7)

## □バドミントン

- 鳥取県高校新人戦バドミントン競技東部地区予選会(10/21~22)  
・ダブルス男子 野際 叶太(2-1)・山根 稜平(1-2) 6位  
・ダブルス女子 門脇 想(2-3)・福田 千晴(2-3) 5位  
吉田 小夏(2-2)・池本 さえ(1-2) 7位  
鳥取県高等学校新人戦バドミントン選手権大会(11/5~7)  
・男子団体 ベスト8  
・女子団体 ベスト8

## □ソフトテニス

- 第57回鳥取県高等学校ソフトテニス新人戦(10/30~31)  
・男子団体 3位 中国大会出場  
・男子個人 田川 晃成(2-6)・田中 倫多(1-6)ペア ベスト8  
尾崎 弘尚(2-4)・奥田 大智(2-2)ペア ベスト16  
・女子団体 3位 中国大会出場  
・女子個人 出井 未侑(1-4)・横山 智咲(2-4)ペア ベスト8  
中林 和花(2-7)・谷口 愛佳(2-4)ペア ベスト16  
西根 菜奈(2-1)・田中 虹晴(2-4)ペア ベスト16  
佐々木柚乃(2-4)・浦田 彩花(2-1)ペア ベスト16  
砂田 夏希(1-7)・高田 夢奈(1-1)ペア ベスト16  
第47回鳥取県高等学校選抜ソフトテニス大会(11/10)  
・男子団体 3位 中国大会出場  
・女子団体 3位 中国大会出場

## □弓道

- 第63回鳥取県高等学校弓道新人戦(10/23)

## □フェンシング

- 鳥取県高等学校フェンシング新人戦(10/30)  
・男子フルーレ、エペ 竹田 大起(2-7) 優勝  
第16回中国高等学校フェンシング新人大会(11/19~20)  
・男子個人フルーレ 竹田 大起(2-7) 決勝トーナメント2回戦進出

## □放送

- 鳥取県高等学校総合文化祭 放送部門(11/9)  
・ビデオメッセージ部門 奨励賞 近畿高総文祭出場  
・アナウンス部門 林 春那(2-7) 優秀賞 中国大会・全国高総文祭出場  
朗読部門 矢原 ゆら(2-3) 奨励賞 中国大会出場  
朗読部門 小坂 春花(1-3) 奨励賞 中国大会出場  
第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会 放送部門(11/13)

## □書道

- 第1回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ鳥取県予選(10/2)  
第41回近畿高等学校文化祭 書道部門(11/20) 村上 奏(3-3)

## □吹奏楽

- 第61回全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会(8/2) 高校A 銀賞  
第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会(11/20~21)

## □邦楽

- 第41回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会(11/21)

## □演劇

- 鳥取県高等学校総合文化祭・第49回演劇発表会(10/29~31) 優秀賞

## □美術

- 第24回鳥取県高等学校デッサンコンクール(10/23~24)

## □将棋

- 全国高等学校文化連盟将棋新人大会鳥取県予選(11/3)  
・伊藤 侑平(1-1) 5位 中国大会出場



# 運動部・文化部の大会結果

## 全国大会出場

### □水泳

全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 (8/17~20)

- ・本田 志帆 (3-1)
- 全国JOCジュニアオリンピック夏季全国大会 (8/23~25)
- ・本田 志帆 (3-1)

### □テニス

全国高等学校総合体育大会テニスの部 (8/4~6)

- ・女子シングルス 杉野 令来 (3-1)

### □ボート

全国高等学校総合体育大会ボート競技 (8/14~19)

- ・女子舵付きフォードルブル
- 秋里 三実 (3-3)・紙原 未羽 (3-5)・小谷 明日香 (3-7)・中村 茉優 (2-1)
- 大林 泰菜 (2-2)・平木 安寧 (2-3)・渡邊 実羽 (2-7)

### □ビームライフル

全国高等学校総合体育大会ライフル射撃競技会

- ・男子エアライフル60発 高藤 滉一 (3-3)
- ・男子ビームライフル60発 山下 洸貴 (2-1)、中原 聡 (2-2)
- 大角 純輝 (2-5)
- ・女子エアライフル60発 田中 綾音 (3-2)
- ・女子ビームライフル60発 霧里 風花 (1-6)、前田 清花 (1-6)
- 岡村 梨央 (1-7)

### □フェンシング

全国高等学校総合体育大会フェンシング大会 (8/10~13)

- ・男子フルーレ 竹田 大起 (2-7)
- ・女子エペ 八木 雪乃 (3-3) 2回戦進出

### □空手

全国高等学校総合体育大会空手道競技大会 (8/13~14)

- ・女子組手個人 森原 咲 (3-5) 2回戦進出

### □書道

第14回書道パフォーマンス甲子園 (7/25)

第15回全国高校生大作書道展

- ・村上 奏 (3-3) 大作優秀賞 (全国4位相当)

第30回国際高校生選抜書展 (10/20)

- ・団体 中国地区優秀賞
- ・個人 平井 耶衣 (3-5) 準大賞 (全国3位相当)
- 山本 菜摘 (3-1) 入賞
- 村上 奏 (3-3)、倉田 季和 (3-4)、林 伶奈 (3-4)
- 渡邊 心音 (2-1)、富山 菜那 (1-1)、入江 佑香 (1-4)
- 以上、入選

### □放送

全国高等学校総合文化祭 放送部門 (8/4~5)

- ・アナウンス部門 林 春那 (2-7)

NHK杯全国放送コンテスト

- ・ラジオドキュメント部門

### □文芸

全国高等学校総合文化祭 文芸部門 (8/2~4)

- ・俳句 砂田 達乙 (3-1)

### □卓球

中国卓球選手権 (8/21~22)

- ・一般男子シングルス 田中 翔 (3-5) ベスト32 3回戦進出

第58回鳥取県高等学校卓球新人戦大会 (11/5~7)

- ・女子学校対抗 6位 中国大会出場
- ・女子ダブルス 山口 結生 (1-7)・西本 七海 (1-7)組 ベスト16

### □水泳

第71回鳥取県高等学校新人水泳競技大会 (9/19)

- ・男子200m自由形 影井 仁 (1-5) 6位 中国大会出場
- ・男子400m自由形 影井 仁 (1-5) 4位 中国大会出場
- ・男子100m背泳ぎ 益田龍之介 (2-5) 準優勝 中国大会出場
- 尾崎 樹生 (1-7) 5位 中国大会出場
- ・男子200m背泳ぎ 益田龍之介 (2-5) 優勝 中国大会出場
- 尾崎 樹生 (1-7) 5位 中国大会出場
- ・男子200m平泳ぎ 加藤 永修 (1-2) 3位 中国大会出場
- ・男子100mバタフライ 山口 蓮 (2-7) 5位 中国大会出場
- ・男子100mバタフライ 澤 幸太郎 (1-1) 6位 中国大会出場
- ・男子200mバタフライ 山口 蓮 (2-3) 準優勝 中国大会出場
- ・男子400mメドレーリレー 5位 中国大会出場
- ・男子400mフリーリレー 5位 中国大会出場
- ・男子総合 3位 中国大会出場
- ・女子50m自由形 谷口 真凜 (2-3) 準優勝 中国大会出場
- ・女子100m自由形 谷口 真凜 (2-3) 3位 中国大会出場
- ・女子100m平泳ぎ 山元 綾乃 (2-3) 3位 中国大会出場
- ・女子100mバタフライ 雁長ののか (1-6) 5位 中国大会出場
- ・女子総合 5位

### □陸上競技

中国五県陸上競技対抗選手権大会 (8/21~22)

- ・男子3000mSC 安東潤一郎 (3-1) 8位

第64回高校新人陸上競技大会 (9/18~19)

- ・男子400m 太田 咲真 (1-6) 6位
- 宇崎 凌太 (2-1) 8位
- ・男子800m 國森 郁光 (2-7) 2位 中国大会出場
- 湯谷 文哉 (2-5) 3位 中国大会出場

- ・男子1500m 國森 郁光 (2-7) 7位
- ・男子110mH 田中 陽大 (2-7) 4位
- ・男子400mH 田中 陽大 (2-7) 8位
- ・男子砲丸投 中嶋 武琉 (2-2) 1位 中国大会出場
- 大久保拓馬 (2-7) 7位
- 森本 康平 (2-1) 8位

- ・男子円盤投げ 中嶋 武琉 (2-2) 1位 中国大会出場
- 大久保拓馬 (2-7) 5位
- ・男子やり投げ 國岡 拓海 (2-1) 5位
- 森本 康平 (2-1) 7位

- ・男子4×100mリレー 5位
- 中原 大翔 (1-6)・宇崎 凌太 (2-1)・太田 咲真 (1-6)・田中 陽大 (2-7)
- ・男子4×400mR 4位
- 太田 咲真 (1-6)・宇崎 凌太 (2-1)・田中 陽大 (2-7)・國森 郁光 (2-7)

- ・総合 男子トラック 5位
- ・総合 男子フィールド 4位
- ・総合 男子総合 5位

- ・女子200m 原田 真暢 (2-7) 4位
- ・女子400m 原田 真暢 (2-7) 1位 中国大会出場
- ・女子800m 迎山 日那 (1-5) 5位
- ・女子1500m 迎山 日那 (1-5) 3位 中国大会出場
- ・女子110mH 戸板 実穂 (1-6) 6位
- ・女子400mH 木下 結音 (1-1) 7位
- ・女子500m競歩 土井 純奈 (2-4) 1位 中国大会出場
- ・女子走幅跳 戸板 実穂 (1-6) 6位
- ・女子三段跳 戸板 実穂 (1-6) 3位 中国大会出場
- ・女子砲丸投 細田 知花 (2-1) 5位
- ・女子円盤投 細田 知花 (2-1) 6位
- ・女子やり投げ 細田 知花 (2-1) 2位 中国大会出場
- ・女子4×100mリレー 5位
- 戸板 実穂 (1-6)・原田 真暢 (2-7)・高田 瑞季 (2-3)・宮脇 彩華 (2-5)
- ・女子4×400mリレー 5位
- 原田 真暢 (2-7)・高田 瑞季 (2-3)・迎山 日那 (1-5)・戸板 実穂 (1-6)
- ・総合 女子トラック 4位
- ・総合 女子フィールド 5位
- ・総合 女子総合 4位

- 第30回中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会 (10/8~10)
- ・男子800m 國森 郁光 (2-7) 4位
- ・女子400m 原田 真暢 (2-7) 8位

第56回鳥取県高等学校総合体育大会駅伝競走 (10/30~31)

- ・男子 6位 中国大会出場
- ・女子 5位 中国大会出場

第63回中国高等学校駅伝競走大会 (11/19~21)

- ・男子 29位

第35回中国高等学校駅伝競走大会 (11/19~21)

- ・女子 30位

### □テニス

鳥取県高校テニス新人戦東中部地区予選会 (9/25~26)

男女単複全種目で全員が県大会出場権獲得

- ・男子シングルス 渡邊 陽光 (1-5) 6位
- ・女子シングルス 坂本 理世 (2-2) 5位
- ・女子ダブルス 細井 琴音 (2-5)・成瀬 幸瑛 (2-6)組 準優勝

鳥取県高校テニス新人戦 個人の部 (10/16~17)

- ・男子シングルス 渡邊 陽光 (1-5) 17位 中国大会出場
- ・男子ダブルス 米田 透麻 (2-5)・金森 大直 (2-7)組 13位 中国大会出場
- ・女子シングルス 橋本 花恋 (2-6) 9位 中国大会出場
- ・女子ダブルス 坂本 理世 (2-2) 21位 中国大会出場
- 橋本 花恋 (2-6)・坂本 理世 (2-2)組 ベスト8 中国大会出場

鳥取県高校テニス新人戦 団体の部 (10/30~11/1)

- ・男子団体 ベスト8
- ・女子団体 3位

中国高校新人テニス大会 (11/19~21)

- ・男子シングルス 渡邊 陽光 (1-5)
- ・男子ダブルス 米田 透麻 (2-5)・金森 大直 (2-7)組
- ・女子シングルス 坂本 理世 (2-2)
- 橋本 花恋 (2-6)
- ・女子ダブルス 橋本 花恋 (2-6)・坂本 理世 (2-2)組

### □野球

第103回全国高校野球選手権鳥取大会 (7/13~26)

- ・1回戦 若美 7:4
- ・2回戦 米子西 6:3
- ・準々決勝 鳥取西 5:2
- ・準決勝 米子東 6:16

秋季鳥取県高等学校野球大会 (9/19~26)

- ・1回戦 米子工業 8:4
- ・2回戦 倉吉北 10:0
- ・準々決勝 米子北 6:1
- ・準決勝 倉吉総合産業 0:8
- ・3位決定戦 米子西 0:5

両大会ともベスト4





## やればできる？

二年保護者 小田原 理一郎

「座右の銘は？」と聞かれたら何と答えますか？著名人の名言や諺という方も多いと思いますが、私は高校生の時から「やれば出来るは、出来るじゃない」です。高校生になると、授業・課題・部活等で日々忙しいので、誰でも、試験や試合が終わった後に「もう少しやっておけば」と思った事があるのでは。でも思うだけじゃもったいない、やれば出来た事なら、次回後悔しないよう行動することが、自信や結果となります。

入学式で校長先生が、「全力で二兎三兎追う」という話をされました。東高は文武・祭と充実した環境が整っているで、時間をうまく使い、数年後に振り返った時、最高の三年間だったと思えることができたなら素敵だと思えます。

初めに紹介したのは、高校の友人の言葉です。部活・勉強・遊びと、とても輝いていた彼が、ふとした時に発した言葉ですが、点数が悪いのは部活に集中しているからと言いつつ、自分の心に刺さりました。

私事ですが、四十歳を過ぎマラソンを始め、サブ四四時間以内の完走なら、ちよっと頑張れば達成できると思っていたのに、まだ達成できていません。「やれば出来る」を「やった」と言えるよう、まだまだ頑張ろう。

## これまでに違う高校生活ですが：

二年保護者 倉益 正明

高校生活も、折り返し地点を過ぎました。我が家は、長女と次女が学校見学で

東高の雰囲気を入り込んで入学し、その姉たちの様子を見て娘も入学を決めました。高校は中学校と違い、様々な地域から生徒が学校に通います。中学校からの仲の良かった友達と離れ、新たな人間関係を築いていく必要がある中で、少し人見知りなところがある娘が友達をつくれるだろうか、と心配しました。中学の時と同じ部活に入部したので、そこで友だちを作ってくれたら、との想いもありましたが、友だちも出来、勉強に部活動に日々頑張っているところを見て安心しています。

充実している学校生活を送っているように感じています。今の高校二年生の子どもたちは、中学校卒業の頃から新型コロナウイルスに翻弄された学校生活を送っており、それは今も続いています。学校行事の内容も変わり、進め方も変わってしまった。我々保護者も、子どもたちの活躍を間近で応援できない状況が続いています。

高校生活は、様々な体験を通じて視野を広げられる絶好の機会なのですが、コロナ禍でその機会を奪われてしまい、可哀想に思います。

その様な社会の状況であるからこそ、周りへの配慮を忘れず、正しい知識で物事を判断し行動する大人に成長してほしいと切に願います。

## go to future

二年保護者 水本 恵子

高校生になった娘は吹奏楽部に入部した。中学ではテニスをやり、今まで音楽を習わせたこともなかったのだが、持ち前の感性で合奏に励んでいるらしい。

私は東高ではないが、高校時代は吹奏楽部に所属しており、夏のコンクールで東高吹奏楽部はライバルだった。そんな東高吹奏楽部に娘が所属し、今年五月に初めて定期演奏会の舞台に立つ娘を観た。白いブレザーを着て舞台で演奏する娘の姿にうれしさと頼もしさを感じつつ、自分の高校時代の演奏会も思い出していた。

演奏会の第二部で「銀河鉄道999」のテーマのつて、バックスクリーンに映し出される演奏会のテーマ「go to future」を見たとき、ふと不思議な感覚にとらわれた。過去の私たちと同じ舞台で演奏する吹奏楽部員たち。毎年、演奏会は開かれ、私たちの演奏会の先にこの舞台がある。

「私は今、あの時の未来にきている」

三十年以上前、未来のことを何も分らない高校生だった私は今、あの頃の未来にきているのだと思った。あの時一緒に演奏した友人に「未来は結構いいところだ」と言いたい。娘に「これから君が行く未来はきっといいところだ。君は確実に未来につながつている」と言いたい。

「go to future」未来に向かって。

今という舞台に立っている生徒たちが皆、未来へ歩いて行ってくれることを願う。

## これからの事

二年保護者

何だかんだと毎日があつというように過ぎて行き、すでに高校生活は後半に突入だと思ふこの頃。ほんとに早いものです。

入学時は友達ができなくて寂しそうにしていたが、少し心配していましたが、日にちがたつにつれて友達もでき、部活でも楽しく取り組んでいるようで、優しい仲間たちと仲よさそうにしている姿に安心したのを思い出します。

「将来の目標決めた」と言ってくれ、自分の夢に向かって勉強もすっかり頑張っている様子。部活と勉強の両立はとて大変ですが、今しか出来ないことであり後悔はしてほしくないの、親として裏方でしっかり支えサポート役として頑張りたいです。

辛いことや悲しい事、苦しいことなど、これからもっと嫌な思いもする事があると思いますが、その分楽しい事や嬉しいこと、優しい気持ちになれる事がそれ以上にあるはず。

反抗期ではあるのであまり聞く耳を持たず、聞きたいことの半分くらいしか答えてもらえませんが、順調に成長し、進んで行っていると感じています。

さあ、未来の自分に向かって一歩一歩着実に進んでいこう！笑顔の絶えないあなたをいつも皆で応援しています。夢に向かって突き進め！！

## 嬉しさ・楽しみ二倍

二年保護者

十七年前開催されたアテネオリンピック開幕直前に息子は生まれました。同じ病院で同じ日に生まれた赤ちゃんが息子と、もう一人男の子の二人だけでした。同じ日に出生した母親同士、色々な話をしながら一緒に授乳し、ゆとりとした時間を過ごしたのを覚えています。お互い子どもの名前も決めていて、もう一人の男の子はT君でした。

退院後、生後一ヶ月ごろT君親子とは一度だけ会って遊び、それっきりになってしまいましたが、昨年東高へ入学した際、息子はT君と再会しました。T君も東高へ入学し、同じクラス、同じ部活です。ある事をきっかけに息子の友達があの時のT君だと分かり驚き嬉しくなりました。

毎回オリンピックが始まると息子の出産当番を思い出し、これからの成長を楽しみにするのですが、今年は息子とT君二人の事を思い出し、嬉しさが二倍になり、楽しみが一つ増えたような気持ちです。

「高校時代の友達は一生の友達」だと高2の春、担任の先生に教わりました。息子にも今出逢っている仲間を大切にしたいです。

## 給食と弁当

二年保護者

我が子が小学生の夏休み、学童保育に通っていた。毎日ではなかったが、弁当の用意が必要だった。スパーに行け

ば、良くできた冷凍食品がたくさん出て回っている。これはいい！と、朝、レンジでチンして弁当箱に入れた。

仕事を終えて帰ってから、息子の弁当箱を確認すると、冷凍食品のみ食べない。次の日も、その次の日も。理由を聞いてみると「おいしくない」からとのこと。

忙しいのに、何言ってもやがるーと腹がたつた。…がメインを毎日残して米とプチトマト等しか食べないようではエネルギー不足でお腹がすくだろう…。追い込まれた私は仕方なく、冷凍食品から足を洗い、試行錯誤しながらも、素材から作るようになった。前もった段取りとまとめ仕事がコツだと、よくわかった。勉強になった。

息子が高校生になり、また弁当の毎日となった。「弁当がおいしくないわけじゃないけど、給食がいい、また給食を食べたい」としみじみと言う。最近はどうも給食が食べたから給食が毎日食べられる仕事に就きたい「そうだ。嘘ではなく、それが一番の進路希望の理由らしい。

わかったことは彼はちゃんとした舌の持ち主だ、ということかもしれない。どれだけ頑張っても旬の食材満載で、手間暇かけて作られた給食にはかなわない。いいんか、それで？と思わなくともない。動機だが、彼らしくてとてもいいと思う。

息子よ、頑張れ。仲間や先生と共に一生懸命目標に向かって頑張る姿はキラキラしている。うらやましくもある。

給食のおいしさにはほど遠いが、千二百円の弁当箱をおかずと米で一杯にすることで、あなたをサポートしていきたい。小さい時とは違って、もうそんなことぐらいいかなないけど。息子に負けないように毎朝がんばろうと思う。

鳥取東高通信187号に写真、原稿等で協力いただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

文化広報部一同